

令和05年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

1. 事務事業の概要

事務事業名 (中事業)	34769 農と食の魅力づくり事業				
基本政策	04 地域特性を生かした産業とにぎわいがあふれるまち				
政策	03 魅力ある農畜産物を生産する				
施策	04 農産物の地産地消を進めます				
実施形態	一部委託				
事業期間	単年度	令和2年度～			
要求区分	継続	予算区分	政策		
事業の実施を市に義務づける国の法令					
有無	なし				
法令名 条項					
予算科目	01-060103-040500				
部名	26 産業活力再生部	課名	01 農林振興課		
課長名	村井 昌徳	T E L	0795-22-3111	内線	2030

2. 対象・目的・内容

事業概要	山田錦の生産や酒蔵での醸造を体験する農醸プロジェクトや、特産品（イチゴ等）を活用した新商品開発を行い、本市農業のPRや魅力ある特産品の市内外への普及拡大を図る。
事業の対象 (誰・何を)	(農醸プロジェクト) 東京農業大学等の学生 (特産品の新商品開発) 市内生産者グループ、市内加工グループ
事業の目的 (どういう状態 にするために)	本市農業のPR及び魅力ある特産品の市内外への普及拡大を図る。
事業の内容 (どういう内容 を行うのか)	(農醸プロジェクト) 東京農業大学等から学生を受入れ、山田錦の生産や酒蔵での醸造に係る研修を実施 (特産品の新商品開発) 市内生産者グループ等による特産品を活用した新商品開発。また、農産物直売所等の都市農村交流施設で新商品の販売など普及啓発イベントを実施

3. 年度別事業費

(単位：千円)

	事業費							
	国庫支出金	県支出金	地方債	分担金負担金	使用料手数料	その他	一般財源	
令和02年度決算額	1,806	0	902	0	0	0	0	904
令和03年度決算額	1,820	0	794	0	0	0	0	1,026
令和04年度決算額	571	0	285	0	0	0	286	0
令和05年度予算額	1,601	0	800	0	0	0	0	801

4. 総コストの概算

(単位：千円)

令和04年度のこの事業に 従事している職員数		従事職員数	人件費(A)	令和04年度 決算額(B)	総コスト (A) + (B)
一般職員	会計年度任用職員				
0.20	0.00	0.20	1,419	571	1,990
事業費の主な用途		委託料			

令和05年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

5. 事業の実績・目標

活動 指標 ①	指 標 名	(特産品の新商品開発) 普及啓発イベント実施回数				単 位	回
	説明や数式	特産品を活用した新商品の販売など普及啓発イベントの実施回数					
	年 度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度		
	目 標 値	3	3	3	3		
	実 績 値	3	4				
	経費(千円) 単位当たりのコスト	1,100 366.67	375 93.75				
活動 指標 ②	指 標 名					単 位	
	説明や数式						
	年 度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度		
	目 標 値						
	実 績 値						
	経費(千円) 単位当たりのコスト						
成 果 指標 ①	指 標 名	(農醸プロジェクト) 研修受入者数				単 位	人
	説明や数式	東京農業大学等から受け入れた研修生の人数					
	年 度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度		
	目 標 値	8	8	8	8		
	実 績 値	5	3				
	経費(千円) 単位当たりのコスト	720 144	196 65.33				
成 果 指標 ②	指 標 名					単 位	
	説明や数式						
	年 度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度		
	目 標 値						
	実 績 値						
	経費(千円) 単位当たりのコスト						
実績・成果 等の説明	(特産品の新商品開発) 普及啓発イベントについては、目標としていた回数を実施できた。 (農醸プロジェクト) 新型コロナウイルス感染症による参加見合わせ等により、研修生の受入れが目標よりも少ない人数となっている。						

6. 評価

1 次 評 価	評 価 ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	2	実施主体の妥当性	3
	事 業 の 総 合 評 価	サービスの対象	2	受益者負担の適切さ	5	市民ニーズの把握	5
	説 明	継続実施 本市農業のPR及び特産品の魅力発信をしていくため、山田錦の生産や日本酒の醸造に係る研修や、特産品を利用した新商品開発などを継続して実施する必要がある。					
外 部 評 価							